



テープカット
左から：石田総領事、カブラル夫人
（元イグアペ市長夫人）、コラッ
ソ会長

2005年3月11日、サンパウロ州イグアペ市（サンパウロ市から南西約165キロ）に於いて、「子供の家『新しい希望』」に対する孤児院の供与式が行われました。

30度を超える暑い日にも関わらず、「子供の家」のコラッソ会長、イグアペ市のテイシェイラ市長、イリャ・コンプリダ市のハギニ市長、イグアペ裁判区モレイラ検事、当館石田総領事他、関係者100名以上が式典に出席しました。



記念プレート前で撮影
左から：テイシェイラ市長、
孤児を抱くモレイラ検事、石田総
領事

石田総領事によるテープカット、カトリック神父によるお祈り、記念プレート除幕式、施設見学に引き続き来賓や孤児院関係者による祝辞が述べられました。

イグアペ日伯文化協会の野村会長は、この協力により子供たちの生活改善がなされると述べ、日本政府の援助は「我々日系人の自慢であり、誇りである」とあいさつされました。



コラッソ会長

イグアペ市のテイシェイラ市長は「日本政府のお陰でイグアペ市民の夢が実現した」と述べるとともに、地域の日系人による地元への貢献に対し敬意を表しました。

次いで、石田総領事は「我が国の草の根無償資金協力によって、孤児院の在続が可能とな

り、地域の孤児及び家庭内暴力の犠牲者である子供たちの収容施設の確保に協力できたことを光栄に思う」と挨拶しました。

その言葉を受け、コラッソ会長は、団体の今までの歩みを語り、思いにもよらない形で孤児院建設が実現したことについて日本政府に対し感謝したいと涙ながらに謝意を述べました。

この後、子供たちによる合唱やダンス、婦人達のコーラスが披露されました。

○ 上記案件のプロフィール

案件名： 「イグアペ孤児院建設計画」

被供与団体： サンパウロ州イグアペ市

契約署名日： 2004年8月4日

供与限度額： 206,366.43 レアル

案件概要：

「子供の家『新しい希望』」は、1997年より、イグアペ市で孤児院を運営している非営利団体です。従来の施設は賃借不動産物件を利用しており、立ち退く必要がありました。

このため、我が国草の根・人間の安全保障無償資金協力により、孤児院施設（264

m²）を新たに建設したもので、新施設建設に伴い必要となる机・椅子、冷蔵庫、洗濯機等の機材購入も行いました。

建設地はイグアペ市が無償で提供したものです。

